



コロロハイスクールで明中生徒を歓迎



絶景を楽しんだブッシュウォーキング



動物園でカンガルーとふれあう生徒たち

引率者から一言

教育委員会生涯学習課長 小川 裕永

日本国土の約20倍を誇るオーストラリアへのホームステイ、私を含め参加者全員にとって貴重な体験になったことは間違いないと思います。異文化、異文化の地で日常会話を通じての温か味のある家庭、人とのふれ合いは感動的で最良の思い出。大きな人間性飛躍の国際交流でありました。

明和中学校教頭 俣田 弘之

初めての国、初めての体験入学、初めてのホームステイ。生徒は不安と緊張の中でも、多くの人の温かさ、雄大な自然に触れ、大きな感動を得ました。一つ一つが忘れられない思い出になったことと思います。

私自身、貴重な研修の機会を与えていただき感謝申し上げます。

明和中学校教諭 鎌田 直樹

生徒を何より成長させたものは一人きりでオーストラリアの家族と共に生活したことだと思います。心の温かさは、文化や言葉を超えて通じ合うものだとことを実感していることでしょう。

生徒たちに貴重な体験の機会を与えてくださったことに深く感謝申し上げます。



さよならパーティーで「ソーラン節」を披露する明中生徒

● 2年 石村和也
オーストラリアでの11日間は出

● 2年 高橋創介
「とても長い11日間」と思っていたけれど、実際行ってみたら「ほんの、たったの11日間」という感じでした。ラスト2日で「日本に帰りたくない」という気持ちで深まってきたので、残された時をとても大切にしました。



油絵を描く生徒たち

● 2年 園部達也
何もかもが初めてでした。オ

● 2年 八千代大祐
僕は今回の海外派遣で初めて外国に行きました。オーストラリアでの生活は、僕に度胸をつけさせてくれました。ホストファミリーとは勇気を出してしゃべり、本当の家族のようになれて、コロロハイスクールでも、たくさん友達ができ、とても楽しかったです。

● 2年 梁瀬絢香
私は、この国際交流を通していろいろな事を学びました。異文化との交流という事で、最初は不安でいっぱいだったけれど、やっていくうちに、だんだんと慣れてきて、どんどん私から声をかけられたり積極的にできました。私はこの体験は、よかったですと思います。

会いや感動の連続で、一生忘れることのできない思い出となりました。慣れない英語で少し苦労しましたが、ホストファミリーの温かさ、そして優しさで楽しく過ごすことができました。これからも交流を続けていきたいと思っています。

● 2年 松本直也
僕は、8月17日からオーストラリアにホームステイに行きました。最初は、英語が話せるか不安だったけれど、3日目ぐらいからは普通に話せるようになりました。僕は、とてもいい体験をしたと思います。また機会があったら行きたいです。

● 2年 吉永愛理
オーストラリアでの11日間は、私にとっても貴重な時間となりました。初めは慣れず、とまどいもあつたけれど、日本では体験できないことも多く、それを学ぶことができ、本当に楽しい時を過ごせました。異国で学んだ経験を将来へ生かしていきたいです。